



～もう一人の自分たち～

校長 熊本 寿美

ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成

(文責：教頭 土器 修)

新たな年、新たな学期へ向けての決意表明 ～2学期終業式、3学期始業式の実施～

12月24日(金)に2学期終業式、1月11日(火)3学期始業式を実施しました。いずれも全学年生徒が静かに入場して、儀式的行事にふさわしい厳粛な雰囲気づくりを行うことができました。これまで課題点であった入退場の仕方を克服した生徒の姿からも、2学期の課題にきちんと向き合い、新たな目標に挑もうとする決意の強さを感じることができました。すべての南中生が強い気持ちでそれぞれの目標を達成し、卒業証書授与式、終了式をより成長した姿で迎えることを心から期待しています。ここでは2学期終業式と3学期始業式の各学年代表の言葉を紹介いたします。

<終業式における2学期の反省>



1年3組 工藤 晃

「速く走ろうなんて考えるな。自分の走りをするだけを考えての方がよい。」ウサイン・ボルト氏の言葉です。1学年の大きな課題「意思表示ができない」ことについて、周りの視線を気にすることが理由だと分かりました。自分の気持ちを伝えることは、将来社会で生きる力になります。2年生になると体育会で指示を出し、全体の前に立つ機会が増えます。2年生の0学期である3学期は、1年生を引っ張り、3年生を支える立場となるうえで課題を改善したいです。



2年1組 古屋 颯

整列、移動時の私語で注意されることが多く、一度きりの修学旅行を成功させることができないと思い、声かけを行い、みんなで意識を変えていきました。その後、全員が緊張感をもって集会に臨むことができるようになりました。修学旅行でもその成果が発揮され、成長を実感しました。一方で課題は、休み時間の過ごし方です。みんなが落ち着いて気持ちよく学校生活を送れるよう一人一人が自制力を身に付け、高め合う集団を目指していきたいです。3学期はリーダー学年となります。自分たちのことは自分たちで行う学期にしたいです。



3年1組 西村 健太

2学期に2つのことを頑張りました。1つは、学習成果発表会で自分の役割を果たせたことです。学級委員として先頭に立ちみんなを引っ張る気持ちで臨みました。最初はリズムも歌詞も合っていませんでしたが、練習を重ねる度に揃っていきました。中学校で一番の合唱となりました。2つは勉強です。受験は先の話だと思っていましたが、2学期は受験生の自覚が出てきました。学力定着には自主的な家庭学習が必要です。日々内容を決め、新たな課題を克服することに努めました。残り三ヶ月を日々無駄にしないようにしていきたいです。

<始業式における3学期の目標>

1年1組 大津 結夢

1、2学期を過ごして、たくさん学んだことがあります。まだまだ力不足な点が多く、「意思表示ができない」ことが一番の課題です。日頃、帰りの会で行っている「30秒スピーチ」や「今日のいいところ探し」で周囲の目を気にするのではなく、自分が伝えたいこと、伝えなければならないことを発信することが大切だと考えます。そのためには、周りの友達も、話し手の意見をバカにしたり、考えを否定したりするのではなく、互いに発信したことを尊重し合う関係づくり、認め合う関係づくりを心がけていきたいです。新入生の模範となれるよう1学年最後の3ヶ月間気を引き締めて臨みたいです。



2年2組 溝口 真

修学旅行と事前の取組の学びを紹介します。1つは、呼びかけることの大切さです。4つの係全員が呼びかけを行い、係以外もそれに応える行動ができました。自分の役割を果たすことで学年全体の雰囲気が変わりました。2つは時間を意識した行動です。時間前の行動をすることで、早く活動がはじめられ、班別自主研修の時間が増えました。日頃の学校生活に生かしていくことが3学期は重要になります。3年生の0学期と言われる時期です。最上級生として下級生にお手本を示し、指導できるよう、自分を見つめ、尊敬される3年生になる準備をしていきます。



3年2組 平田 理乃

3学期、多くの方が入試を受け、進路決定していきます。そこで3年生全員で進路実現することを目標に頑張ります。まず、授業態度を改めます。「男女関係なく仲が良い」良さを、授業中の私語等が台無しにしています。発言するときは積極的に言い、他は静かにするメリハリを目指します。次に休み時間の過ごし方を改善します。休み時間に暴れて怪我することなく、万全の状態の入試を迎えたいです。受験は団体戦です。不安やストレスを築き上げた絆で乗り越え、笑顔で卒業式を迎えるため団結力を発揮します。そして下級生に後ろ姿を見せていきます。



地域連携活動による豊かな心の育成 ～CSサロンの実施～

本校では地域の方を講師にお招きし、講演会や物づくりを行うCSサロンを実施しています。地域の方とのふれあいの場、地域人材活用の場づくりを通して、生徒の豊かな心の育成に取り組んでいます。本年度は、12月3日(金)に宇美町在住のエLEGANSPRIZァーブドフラワー協会福岡校講師の堀尾深雪様をお招きし、ハーバリウムづくりのご指導をいただきました。



24名の生徒が参加し、和やかな雰囲気の中で地域の方とふれ合い、美しい作品づくりに集中する楽しい時間を過ごすことができました。この日完成した作品は、現在正面玄関を華やかに飾っていますので、お立ち寄りの際はご覧ください。

堀尾様による説明の様子 参加した3年生と作品

「共律協援～自律し、支え、学び合う、史上最高の思い出を～」 ～2学年山口方面修学旅行の実施～

12月20日(月)、21日(火)に、2学年の山口方面修学旅行が1泊2日の行程で実施しました。生徒会役員改選で選出された第25代生徒会役員を実行委員として事前の取組を実施し、スローガン「共律協援～自律し、支え、学び合う、史上最高の思い出を～」を掲げて秋芳洞の見学、萩焼手ひねり体験、萩市内班別自主研修、下関海響館見学等を行いました。コロナ禍での実施のため、感染症対策を講じるとともに、実行委員を中心にバスで私語をしないこと、食事中は黙食を行うことを守りました。

出発式では、校長先生から2年生に「目配り」「気配り」「心配り」を心がけるようお話がありました。2年生はこの3つを常に心がけ、安心・安全な行動、集合時間5分前行動、他の観光客への配慮等に努めました。このことで予定時間よりも早めに班別の活動が開始され、生徒は見学やお土産購入にゆっくり時間をつかうことができました。自律した責任ある行動によって快適で、自由な活動ができることを実感できた貴重な体験となりました。帰着式では、実行委員長の伊藤寛菜さんが今回の成功を80%と評価し、1月21日(金)の県内修学旅行と日常生活でそれぞれが自律して行動することを強く呼びかけ、2年生全員がそれに力強く応えました。次回のさらなる成長を強く期待します。



萩焼手ひねり体験の様子



松陰神社見学の様子

南中いじめ撲滅宣言の誓い ～2学期生徒集会の実施～

12月23日(木)に、生徒集会が実施され、第24代生徒会活動の総括が行われました。南中生徒会学力向上プラン(一委員会一取組)をはじめ、生徒会スローガン「陽向麗」の具現化に向けた各委員会の様々な取組やボランティア活動等を全会員とともにふり返りました。また、策定された「南中いじめ撲滅宣言～優しさあふれる素敵な学校の実現～」が発表されました。「陽向麗」をスローガンに掲げた第24代生徒会の集大成とも言える宣言のもと、南中生が、互いに個性を認め合い、笑顔あふれる学校にしていくことを誓いました。

一、(いじめをしない)
お互いの個性を認め合い、
自他を大切にする南中生

一、(いじめをさせない)
自分の言動に責任をもち、
他者とより良い関係をつくる南中生

一、(いじめを見逃さない)
自分の正義を貫き、
勇気をもって行動する南中生



生徒の努力を称えて ～各種表彰～

12月23日(木)、24日(金)に、中体連、中文連、各種コンクール等で優秀な成績を収めた部活動、生徒の表彰及び紹介を行いました。ここでは、表彰、紹介された部活動、生徒を紹介いたします。

- 糟屋区中学校新人バスケットボール大会 優勝 女子バスケットボール部
- 糟屋区中学校新人卓球大会 3位 男子卓球部
- 宇美町図書館を使った調べるコンクール 優良賞 金井美諭、高原奈那 奨励賞 中嶋ひより
- 全国納税貯蓄組合連合会及び国税局主催中学生の税についての作文 糟屋地区議長協議会会長賞 廣瀬千晶
- 宇美町青少年育成町民会議主催少年・少女の主張大会中学生の部 優秀賞 山下千尋
- 社会を明るくする運動糟屋地区作文コンテスト 佳作 山下千尋
- 宇美町青少年育成町民会議主催青少年の声標語中学生の部 優秀賞 小材海晴、佳作 金井美諭、井上美織
- 糟屋区中学校文化連盟総合発表会 優秀賞 清水 恋華、佳作 成田芽生、白谷美奈
- 宇美町明るい選挙啓発ポスターコンクール 入選(紹介)
金井美諭、矢頭鷹斗、小池亜実、井上正風、清水恋華、石川のののか、坂本苺香、平田理乃
- 糟屋地区明るい選挙啓発ポスターコンクール 金賞、福岡県明るい選挙啓発ポスターコンクール 佳作 小池亜実
- 生徒会主催あいさつ標語 最優秀賞 小材海晴、審査員特別賞 金井美諭、生徒会特別賞 井上光織
1学年優秀賞 溝川陸也、2学年優秀賞 前田瑞葵、3学年優秀賞 田代心咲
- 生徒会主催黙勤掃除標語 最優秀賞 入野陽菜、審査員特別賞 倉津愛望、生徒会特別賞 元満希美
1学年優秀賞 溝川陸也、2学年優秀賞 坂東七彩、3学年優秀賞 福田 莉生
- 生徒会主催いじめ防止標語 最優秀賞 倉津希望、審査員特別賞 村田隼梧、生徒会特別賞 大脇らんる
1学年優秀賞 山川 琴音、2学年優秀賞 原田愛未、3学年優秀賞 伊規須一希

南中生徒会の伝統の継承 ～生徒会役員の交代～

12月24日(金)の終業式後、第24代生徒会役員が退任しました。生徒会長の平田理乃さんは、退任のあいさつで、第25代生徒会役員に向けて「仲間がきっと助けてくれます。理想の南中の実現に向け、伝統を受け継ぎ、さらなる発展を祈ります。」というエールを贈りました。南中のあいさつが地域に誇れる文化に高まったこと、生徒会チーム制による体育会と学習成果発表会が成功したことは、第24代生徒会役員の強いリーダーシップと献身的な支えのおかげです。その貢献とモデルの姿に心から敬意を表します。

続いて第25代生徒会役員に校長先生より任命証が手渡されました。生徒会長の伊藤寛菜さんが、あいさつと優しさあふれる学校づくりを引き継ぎ、信頼される生徒会にしたいと抱負を述べ、全会員で努力し支え合うことを呼びかけました。会員は拍手でそれに応え、フォロワーとして新生徒会を支える決意を表現しました。新たな伝統の創造に向けて、第25代生徒会役員が会員と一丸となって活躍してくれることを期待します。



第24代生徒会役員



第25代生徒会長のあいさつ

ご協力いただいた保護者、地域の皆さま、生徒の皆さんへのお礼 ～赤い羽根共同募金贈呈～

12月23日(木)の生徒集会において、11月15日(月)～19日(金)に実施した赤い羽根共同募金を社会福祉協議会長の安河内毅様に贈呈いたしました。募金総額は、4,651円となります。安河内様からは「困っている人のためにつかわせていただきます。」というお言葉をいただきました。子どもを通じてご協力いただいた保護者の皆さま、地域の皆さま、生徒の皆さんに心よりお礼申し上げます。



昇降口での募金の様子



募金贈呈の様子